

令和4年度事業報告

1. 防錆に関する調査研究を行う事業

1.1 防錆防食材料部会（部会長 出光興産(株) 長瀬直樹殿）

防錆防食材料部会は、24社、29名の会員により次の事業を行った。

(1) 部会事業

令和4年7月29日、機械振興会館において令和4年度防錆防食材料部会総会並びに懇親会を開催した。

(2) 防錆油剤分科会（分科会長 出光興産(株) 長瀬直樹殿）

令和4年7月29日に分科会を開催したほか、令和4年10月19日～21日に開催された「2022洗淨総合展」の当協会ブースに「防錆管理士」資格を持った技術相談員を派遣し、来場者からの相談に応ずるとともに防錆油剤等の広報に努めた。

(3) 気化性防錆材料分科会（分科会長 (株)イーパック 會田敬三殿）

令和4年7月29日、令和5年1月27日に分科会を開催したほか、令和4年10月19日～21日に開催された「2022洗淨総合展」の当協会ブースに「防錆管理士」資格を持った技術相談員を派遣し、来場者からの相談に応ずるとともに気化性防錆材料等の広報に努めた。

また、ISO TC156（金属及び合金の腐食）（ステンレス協会担当）、ISO18717「防錆材料の性能試験方法」のNP18717-1「気化性防錆性試験（案）」についてのNP投票について検討を開始した。

(4) 被覆防食材料分科会（分科会長 (株)ナカボーテック 志鶴真介殿）

令和4年7月29日に分科会を開催した。

(5) 自動車用化学製品分科会（分科会長 出光興産(株) 長瀬直樹殿）

自動車用化学製品分科会は、部会事業に協力した。

1.2 溶射部会（部会長 元海上技術安全研究所 植松 進殿）

溶射部会は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動を行った。

1986年（昭和61年）に千葉県の千倉町で開始した鋼管の暴露試験は、2022年（令和4年）5月で36年を迎え、令和4年11月10日、11日の両日、外観観察、膜厚測定、写真撮影を行った。また、2017年に開始した新規溶射鋼管2本、2018年に補修溶射を考慮し施工したバンドの観察も行った。

令和5年3月17日には、今後の試験継続方法について部会を開催して検討を行った。

2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

2.1 防錆技術学校

(1) 第62回防錆技術学校

第62回防錆技術学校（施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成）は、経済産業省、国土交通省、日本商工会議所の後援を受けて、広く産業界より受講者を募り、273名の受講者を迎えて令和4年4月1日に開校した。

1年間の教育は、通信による教育と講師による直接指導を行い、基礎内容の理解を助ける学習指導は、5月に東京、大阪で、専攻科の理解と共に最新情報を提供する面接講義

は、9月に大阪、10月に東京で実施した。また、面接講義では、実力判定の筆記試験、面接講義時の理解度確認試験を行った。

専攻科目終了時には、学習の集大成である防錆管理士認定論文の審査、及落判定会議を経て、236名の修業者並びに233名の防錆管理士資格者を認定した。

その結果、創設以来の修業者総数は16,864名、防錆管理士総数は16,659名に達した。

第62回防錆技術学校 修業・認定者数

専攻科	受講者数	修業者数	管理士認定者数
施設防食科	69	64	62
防錆塗装科	116	100	98
防錆塗装科別科	42	33	35
めっき科	26	20	19
防錆包装科	20	19	19

令和5年3月3日開催の修業式は、来場者にアルコール消毒とマスク着用を求め、会場内の座席を例年の2倍の間隔をあけて開催し、経済産業省のご臨席のもと吉田昌之副会長より修業証並びに防錆管理士認定証の授与を行った。

また、成績優秀者に対し最優秀賞（5名）、優秀賞（20名）、優秀論文賞（13名）を贈り表彰した。

修業式の式典に先立ち、優秀論文の中から「溶融めっきの浸漬試験における水中のSiの影響」（地独）大阪産業技術研究所 岩田孝二殿（施設防食科）、「硫酸水反応タンクにおける硫酸腐食とその対策」味の素㈱ 岩本康敬殿（施設防食科）の2編の論文発表を行った。

(2) 防錆技術学校教材

防錆防食技術が広範囲にわたる技術であることから、防錆管理士としては最新情報及び受講科以外の技術情報を習得する必要があるため、月刊技術誌「防錆管理」を副教材として配布した。

2.2 防錆管理士会（会長 ㈱竹中工務店 長谷川完殿：会員数 292名）

防錆管理士会は、国内に5支部を置き次の事業を行った。

(1) 本部事業（幹事長 日本大学 酒井哲也殿）

防錆管理士会は、令和4年6月3日にパナソニックリゾート大阪において令和4年度通常総会並びに記念行事を西日本支部の企画により開催した。記念行事は「ステンレス鋼発色技術の開発動向」㈱アサヒメッキ 川見和嘉殿、「金属—CFRP接合体のガルバニック腐食」(国研)宇宙航空研究開発機構 森本哲也殿の講演会と併せて懇親会を開催し、会員相互の交流を深めた。

(2) 東日本支部（支部長 ㈱ケット科学研究所 久保興一殿）

東日本支部は、令和4年8月23日に「エロージョンコロージョン、フレッティングコロージョン～劣化現象と対策～」広島大学大学院 磯本良則殿ほか1件の講演会を開催した。

また、令和5年1月27日に協会と共催で「木造建築－森林グランドサイクルの取り組み」(株)竹中工務店 石川修次殿など2件の新春講演会を開催した。

見学講演会としては、令和4年12月14日 JAXA調布航空宇宙センターの見学と講演会「CFRPを用いた航空機構造における接着接合技術への挑戦」JAXA調布航空宇宙センター 森本哲也殿を開催した。

(3) 東海支部（支部長 元(株)興和工業所 津坂峯隆殿）

東海支部は、新型コロナウイルス感染拡大のため、すべての行事の開催を自粛した。

(4) 西日本支部（支部長 長沼技術士事務所 長沼 仁殿）

西日本支部は、令和4年度通常総会並びに記念行事を企画・運営したほか、令和5年3月23日に「防錆顔料概説及び用途別運用方法について」キクチカラー(株) 工藤智幸殿ほか1件の講演会を開催した。

(5) 九州支部（支部長 (有)宮寄塗装工業 宮寄 香殿）

九州支部は、令和4年7月15日に「溶射施工管理の実際と溶射の耐久性」カンメタエンジニアリング(株) 中村元昭殿ほか1件の講演会を開催した。

また、令和5年1月27日には（一社）日本塗装工業会と共催で「鋼橋の塗装管理とメンテナンス」（一財）土木研究センター 中島和俊殿ほか1件の講演会を開催した。

(6) 沖縄支部（支部長 (株)エムテック 宮城 肇殿）

沖縄支部は、(公社)腐食防食学会と共催で令和4年11月24日に「AIと数値解析を用いた塩害環境予測に関する研究」琉球大学 崎原康平殿ほか1件の講演会を開催した。

また、令和5年2月24日に拓南製作所(株)防錆事業所の見学会を実施した。

3. 防錆に関する日本産業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

3.1 国際規格

塗装、溶射、ライニングの下地として活用されるブラスト法についての国際規格ISO/TC35/SC12（塗料及び関連製品を塗装する前の素地調整）の対応を行うため国内委員会（委員長 日本大学 酒井哲也殿）を組織し、24名の委員構成で対応した。

国際会議は、WG2（表面清浄度の試験方法）が令和4年6月16日、WG3（処理方法）が6月17日、WG4（研削材）が6月20日、SC12が6月21日にそれぞれ開催され、Web会議に委員を派遣した。令和4年度の提案は、ステンレスショットとレーザー処理を主に活動を行った。

コロナ禍のため国内委員会は開催出来ず Web会議として、国際会議前の5月30日及び国際会議終了後の7月26日に委員会を開催した。

また、メールによる意見聴取を行いながら、SR（定期見直し）投票9件、WG（作業グループ）投票3件、CIB（委員会内）投票1件、NP（新業務項目提案）投票5件、CD（委員会原案）投票1件、DIS（国際規格案）投票1件、FDIS（最終国際規格案）投票2件の計22件の投票を行った。

10月11日、11月1日には、ISO11124-3「高炭素鋳鋼ショットグリット」とJIG G 5903「鋳鉄製又は鋳鋼製ショット及びグリット」の規格について、JISの作成団体である（一社）日本鋳造協会と規格の記載内容についての意見交換をWebで行った。

3.2 日本産業規格

（一財）日本規格協会が編集発行する「金属表面処理JISハンドブック」の編纂委員会に委員を派遣し、当協会が原案作成したJIS規格の編集を中心に協力した。

4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれを配布する事業

4.1 機関誌「防錆管理」

月刊技術誌「防錆管理」の編集委員会（編集委員長 JFEテクノリサーチ㈱ 村瀬正次殿、副編集委員長 ディップソール㈱ 井上 学殿）は、分野別専門家17名の委員で構成し、12回の編集委員会で検討を重ねながら、66巻4月号から67巻3月号までの12号を発行した。なお、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策として、Webと会議室のハイブリッド方式で委員会を開催した。

防錆防食専門分野ごとのテクニカルレポート、解説と様々な分野の内容を掲載し、会員相互の情報交換の場としての役割を担っている。

4.2 書籍販売

現有12タイトルの書籍販売に努めた。

5. 防錆に関する文献、資料及び情報の収集を行い、これを閲覧に供する事業

5.1 防錆防食技術発表大会

第42回防錆防食技術発表大会実行委員会（実行委員長 九州大学大学院 濱田秀則殿、副委員長 鹿児島大学 審良善和殿、日本製鉄㈱ 菅江清信殿）は、専門分野ごとの委員21名で構成し、令和4年7月5日、6日の2日間、東京・御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」においてコロナ禍の中171名の参加者を得て開催した。

特別講演は、「地方の“道”はだれが守っていくか～長崎県におけるインフラ長寿寿命化の取り組み～」長崎大学 松田 浩殿、「インフラ構造物の維持管理技術への取り組み」（国研）物質・材料研究機構 片山英樹殿、「インヒビター研究70年ー自己組織化膜の化学修飾による超薄二次元重合体保護皮膜の作成と腐食防止効果に関連した話題からー」慶応義塾大学名誉教授 荒牧國次殿の3件を、「いまさら聞けない用語」は、「促進試験ー考え方と実時間換算の事例」静岡理工科大学 西田孝弘殿に講演いただくとともに、技術発表19件、製品・施工技術発表 3件が発表された。

また、映画は「ウィンドパワーかみす（洋上風力発電）」を上映した。

若手技術者優秀発表賞は、39才以下の方を対象に、事前登録された発表者に対して、発表手法を主に審査を行い、新菱冷熱工業㈱ 加藤祐介殿、鹿児島大学大学院 武中宏樹殿、㈱ナカボーテック 染谷 望殿の3名を表彰した。

5.2 インターネットによる情報の提供

当協会活動状況の情報公開は、<http://www.jaccl.or.jp>に事業計画・収支予算書、防錆技術学校、防錆防食技術発表大会、出版物、支部行事、各部会、防錆管理士会行事の紹介のほか、防錆管理士資格者の所在不明者名簿を掲載し、情報提供を求めた。

6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

6.1 2022洗浄総合展

令和4年10月19日～21日の3日間、東京ビックサイトにおいて開催された「2022洗浄総合展」(主催 日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社ほか)に特別協賛するとともに、2小間の展示ブースの提供を受けて当協会の活動紹介、防錆技術学校の広報、出版物販売、防錆技術啓蒙資料の展示のほか、防錆防食材料部会の協力を得て防錆技術相談を行った。

3日間の来場者数は16,099名であった。

6.2 防錆防食技術発表大会カタログ展示コーナー

令和4年7月5日、6日の2日間、東京ガーデンパレスにおいて開催された第42回防錆防食技術発表大会の会場に「カタログ展示コーナー」を設置し、防錆防食関連のカタログを展示して会員並びに来場者に技術情報の提供を行った。

7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

会員からの依頼により、防錆に関する2件の試験研究を受託し、報告した。

8. 防錆に関する技術向上のため発明、研究に対する顕彰を行う事業

令和4年度の該当事業はなかった。

9. 防錆に関する事項について国会、政府その他に対し意見を開陳する事業

国土交通省から「建築設備計画基準及び資料 令和6年度版」及び「建築設備設計基準及び資料 令和6年度版」の改定について意見を求められたので、これに対応した。

10. 本会の目的を達成するために必要な事業

10.1 本部事業

総会 令和4年6月7日、機械振興会館において定時社員総会を開催した。

理事会 令和4年5月20日、11月16日、令和5年3月24日に機械振興会館において通常理事会を開催した。

講演会 令和5年1月27日 東京お茶の水 東京ガーデンパレスにおいて防錆管理士会 東日本支部と共催で、「鋼鉄道橋のメンテナンス技術 長寿命化に向けた取り組み」(公財)鉄道総合技術研究所 坂本達朗殿ほか1件の講演会を開催した。

交歓会 令和5年1月27日、東京ガーデンパレスにおいて「新春のつどい」を開催した。

10.2 支部事業

中部支部、関西支部並びに沖縄支部の3支部は、それぞれ地域の防錆防食技術の向上と普及に努め、地域経済の発展に大きく貢献した。

(1) 中部支部(支部長 名古屋大学 市野良一殿)

総会 令和4年7月13日、あいち産業科学技術総合センター産業技術センターにおいて通常総会を開催した。

幹事会 令和4年7月13日、あいち産業科学技術総合センター産業技術センターにおいて幹事会を開催した。

講演会 令和4年7月13日に講演会を開催し、「鋼部品の熱処理前後の防錆処理工程における課題と対策」出光興産(株) 長瀬直樹殿、「気化性防錆紙の基礎」アドコー

ト(株) 細川長幹殿の講演会をハイブリッドで行った。

(2) 関西支部 (支部長 (一社)日本防錆技術協会 羽田隆司殿)

総会 令和4年5月27日、大阪市立総合生涯学習センターにおいて通常総会を開催した。

幹部会 令和4年12月13日に幹部会を開催した。

幹事会 令和4年5月27日、令和5年3月10日に幹事会を開催した。

四役会 令和4年5月16日、8月3日、12月7日に四役会を開催した。

講演会 令和4年9月28日と11月2日に講演会開催の企画をしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、いずれも中止せざるを得ない状況となった。

見学会 令和4年9月28日と11月2日に講演会と同時開催で大阪産業技術研究所和泉センターの見学会を企画したが、講演会同様に中止となった。

講習会 令和4年8月4日、12月2日に大阪産業技術研究所和泉センターにおいて「いまさら聞けない金属腐食と電気化学の基礎(講習と実習)」を開催した。

(3) 沖縄支部 (支部長 琉球大学 押川 渡殿)

総会 令和4年6月24日、琉球大学において通常総会を開催した。

幹事会 令和4年6月10日、幹事会を開催した。

講演会 令和4年11月24日、琉球大学研究者交流会館において「通信用設備の防錆防食技術に関する最近のトピックス」東日本電信電話(株) 折口壮志殿ほか1件の講演会を開催した。

見学会 令和5年2月24日に拓南製作所(株)防錆事業所の見学会を実施した。

10.3 関係省庁及び関係団体との協力事業

関係省庁及び関係団体の要請により8件の機関、委員会に役員、委員を派遣した。